

# ウィズコロナ・アフターコロナ社会の道しるべ<sup>④</sup>

## ロースペックで メンテナブルな 道をつくるべき

著書『シン・ニホン A I × データ時代における日本の再生と人材育成』では、「風の谷を創る」プロジェクトの話の中で道の話が出てきます。道についてはどのような思いがありますか。

「道は、前提として空間を二つに割る必要があると思います。一つは都市。人口密度が1平方キロ当たり数千人以上の規模で、インフラ投資してもペイできる空間を『都市』とすると、残りの大多数の土地である『疎空間』にある道はペイしません。この疎空間の道をどう考えるかが大事です。われわれの見解では『道』には集落と集落、あるいは街と街を『つなぐ道』、空間の中で家や建物に『つながる道』という2種類があります。これらは根本的に役割の違うもので、つながる道はわだちが沈まない程度の『柔らかい道』が望ましいと思います。硬い道は谷の豊かさを生み出す動植物にとっては迷惑な上、メンテコストが極めて高いからです」

「今は谷的な疎空間も硬い道だらけなので一度ほぐす必要があります。まさに『ほぐす土木』の開発が必要です。今後建設業の労働人口が減少し現在の340万人から半減、4割ぐらいになったら、道をメンテナンスしきれずに非常に巨大な空間を捨てることになるでしょう。捨てたくなかったら、もっとロースペックでメンテナブルな道をつくるべきです。『谷』内の『つながる道』は、メンテキツトのよつなものを配って住民が手入れできるようにするなど、これまでとは根本的に思想を変える必要があるでしょう」

日本は地震や台風等の災害が多く、最近では多頻度、激甚な傾向にあり、国土強靱化に向けた道づくりも進められています。

「環境省では2100年には風速90級の台風がくると予測しています。しかもその数値はアグレッシブシナリオではなく、温暖化が抑えられたとしても風速70級の台風が恒常化するという予測です。風速70級は満載のトラックが倒れるレベルです。風速90級となると多くの家が倒れます。今後30〜50年の間に道と街は全部作り直さなければならぬというのが、われわれが向かっている未来で、その対策を考えるのが国や自治体の仕事です。200兆円規模の被害が、事前メンテナンスによって20兆〜30兆円に抑えられるなら、やった方がいいでしょう。都市部、特に東京は『つぶれたら日本が崩壊する』という理由で直すでしょう。けれどもそれ以外のところは放置される可能性が大きいです。そこに少なくとも風速70級に耐えうる空間や建物を造ることが重要だと考えます」

この6月、社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会が「2040年、道路の景色が変わるー幸せにつながる道路ー」という提言を行っています。道路政策を通じて実現を目指す社会像を書いたものですが、将来の道の姿について何かお考えがあれば。

「既に年間3200人とかつての5分の1以下まで減った交通事故死者数をゼロにするには、人間の知覚能力を超える能力が求められます。それならば人と車は分離するのが一番です。人と車が混ざる道にはあらゆるところにセンサーを埋め込んでおく。そうすればセンシング情報を車や道そのものに送り込んで共有し、例えば事前にアラートして車を制御できるのがトラブリングは減ります。ただそれをやるくらいなら、車が多少迂回（うごかい）してでも人と徹底分離した方が、低コストなのではないかとも思います。いずれにせよ日本の道路は狭く、人と車が入り交じっているのがデメリットです。AI ready になっていく。ちなみにセンシングは人が多くて飛び出してくる可能性が高い空間で有効ですが、疎空間でもメンテで活用すべきです」

最後に建設業界にエールをお願いします。

「これまで述べてきたように向こう30〜50年、土木業界には想像を絶する需要がくると想像しています。大変なことだと思っけれど、皆さんの向こうに未来があるので頑張ってください。ただ今のように、イノベーションを起こす重要な局面だと思います。ただ今のままでは、国も自治体もこんなに巨額な金は払えない。だから知恵を出す必要があります。皆さまへの期待と依存度は高まる一方です。それから『ほぐす土木』、僕は『逆土木』とも言っていますが、そういう話に興味がある人がいたら紹介してください」



### 安宅 和人氏

慶応大学環境情報学部教授、ヤフーチーフストラテジーオフィサー。イェール大学脳神経科学Ph.D. 出身地：富山県、趣味：風の谷を創る、好きな食べ物：コークゼロを年間1000本愛飲。



### 松田 和香氏

日本みち研究所研究理事（国土交通省から出向中）、博士（社会工学）。出身地：秋田県、趣味：那須遊び、好きな食べ物：和牛、ワイン、チーズ。



「疎空間」にある道をどう生かすか



～ 道路・交通イノベーションをめざして～

## 一般財団法人 日本みち研究所

理事長 石田東生筑波大学名誉教授

(<http://www.rirs.or.jp/>) 「みち研」で検索